

What is a Proposal ?

プロポーザルとは、単に「提案」だけでなく
実施方針や体制、実績、地域貢献度などを総合的に評価して
「提案者」を決定する方式。

地元・茨城で活動する茨城県建築士事務所協会の
会員が力をあわせ発注者様に寄り添い
お手伝いをさせていただきます。

INDEX

- 02 一般社団法人茨城県建築士事務所協会による
公共施設等建設に係る設計プロポーザル実施のお願い
- 03 プロポーザルの歩み
- 04 プロポーザルの流れ
- 05 第1回(平成23年度)プロポーザル最優秀賞
茨城県菅桜川アパート「これからの団地の集会所」
Shade建築設計工房 鈴木 弘
- 07 第2回(平成25年度)プロポーザル最優秀賞
高萩警察署大津地区交番「これからのKOBAN」
大山都市建築設計 大山 早嗣
- 09 第3回(平成26年度)プロポーザル
笠松運動公園公衆トイレ
最優秀賞 / 株式会社 匠建築研究室 坪山 勲
優秀賞 / 有限会社 常総企画潮田建築設計事務所 宮本 誠司
優秀賞 / 株式会社 飯島洋省andHAND建築設計事務所 飯島 洋省
審査員特別賞 / 大山都市建築設計 大山 早嗣
- 17 第4回(平成30年度)プロポーザル最優秀賞
JAなめがた家族葬ホール
株式会社 早川建築事務所 早川 敏史
- 19 第5回(令和元年度)プロポーザル最優秀賞
日立市市民運動公園テニスコートトイレ・更衣室棟
有限会社 AkH建築設計室 本澤 幸一
- 21 プロポーザル施設 Since 2011～



一般社団法人
茨城県建築士事務所協会
会長 舟幡 健

一般社団法人茨城県建築士事務所協会による 公共施設等建設に係る設計プロポーザル実施のお願い

平素は当協会の事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
本協会は、県内にある約500社の登録建築士事務所の団体であり、
県内各地の災害時には、県、市町村の求めに応じ積極的に参加させて
頂き、行政団体に協力して参りました。

さて、標記の事業につきましては、市町村、各種団体等が計画されて
おります比較的小規模な建築物の設計において当協会が設計者の
選定に協力させて頂くもので、当協会の会員事務所によるプロポーザル
を実施し、発注者の求めに応じた優秀な提案を選定することが可能と
なります。

このプロポーザルに当たりましては、公告から審査、選定に至るまで
協会が積極的に参加、協力させて頂くことから発注者の事務手数等の
軽減につながるとともに、特徴ある数多くの提案の中から理想とする
提案を選定することが可能となります。

ぜひとも貴事業の企画に参加させて頂きたく要望するものでございます。

〈実施スケジュール〉

- 目的施設の概要の検討・決定
- 公告(審査体制、方法等の決定)
- タイムスケジュールの決定
- 審査、決定

プロポーザルの歩み



発注者/茨城県
第1回いばらき建築環境デザイン
プロポーザル
「県営桜川アパートの集会所」ポスター



発注者/茨城県警察本部
第2回いばらき建築環境デザイン
プロポーザル
「これからの KOBAN」ポスター



発注者/茨城県
第3回笠松運動公園トイレ設計に関する
プロポーザルポスター



発注者/JAなめがた
第4回JAなめがた家族葬ホールの
建築設計ポスター



発注者/日立市
第5回日立市民運動公園
テニスコート トイレ・更衣室棟設計に
関するプロポーザルポスター

東日本大震災が起きた平成23年度に、第1回目のプロポーザルは開催されました。「いばらき建築環境デザインプロポーザル」と銘打ち、県内の若手建築家を育成し、将来の建築界を担う有能な建築家を発掘する目的で、始めました。

第1回目は、県営住宅の集会所が課題でした。発注者と建築関係者が審査員となり、審査が行われました。

- 地域と建築との結び付きを考慮した建築であり、魅力ある地域特性に対する配慮がなされており、機能的であること
- 「光・水・風・緑・土」という環境要素を取り入れた建築であり自然エネルギーを考慮した新たな建築デザインであること
- 新鮮な発想力を生かした建築の提案であること

などを審査基準として入選案が決定されました。

今までの実績は、茨城県からの課題で、第3回目まで実施されました。

第4回目の家族葬ホールは、当時の「JAなめがた」からの課題でした。「指名願」を提出していない業者への設計発注は難しいのでは、との判断から各市町村へのピールはしてきませんでした。令和元年度の第5回目には、日立市からプロポーザルの課題の提供がありました。各社の指名願の件は問わず、事務所協会に依頼するという形式が取られました。今後は各市町村に対しても、積極的に案内していきますので、宜しくお願いします。

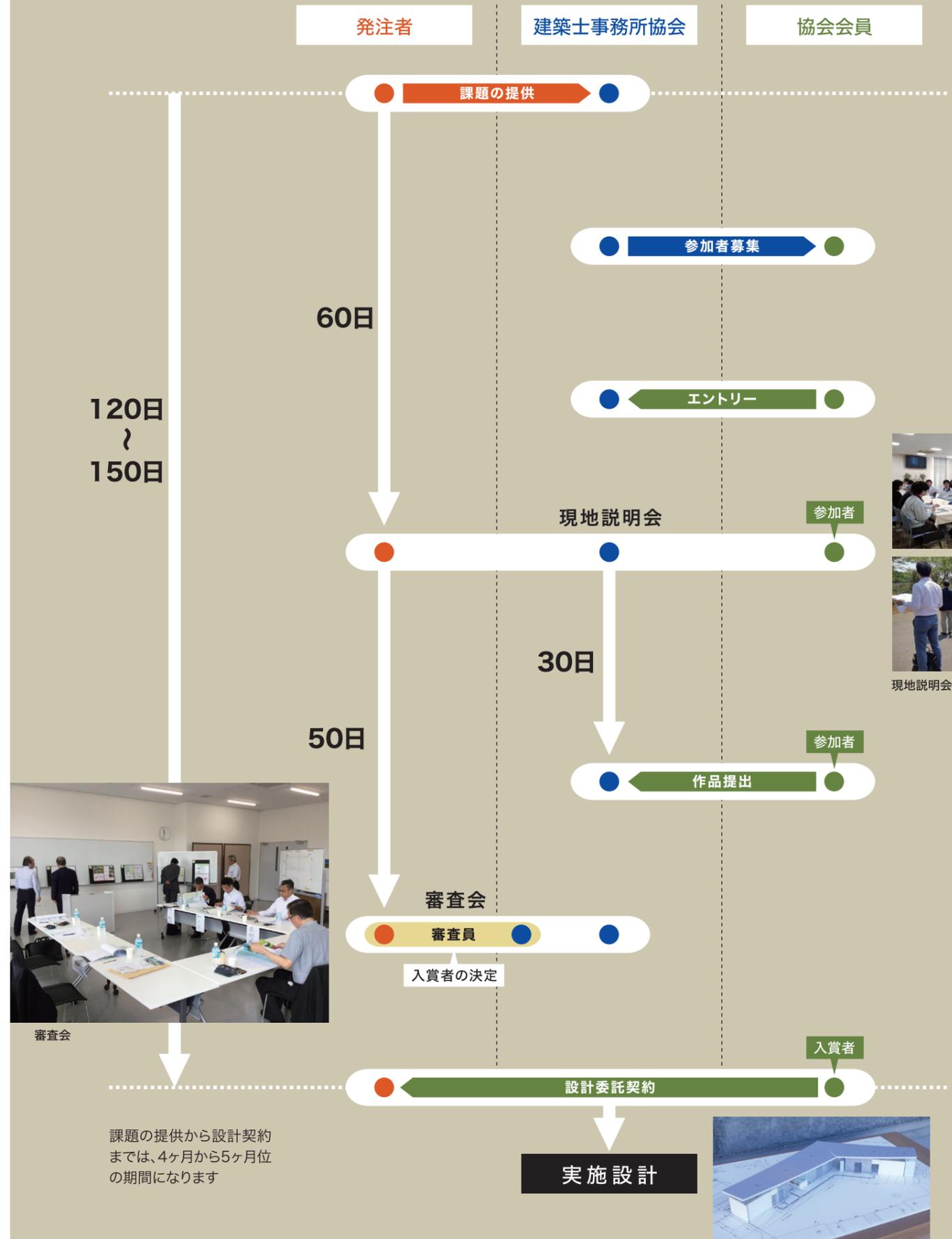
【募集要項】

このコンペは将来の建築界を担う若手建築家を対象とした「いばらきの若手建築家育成事業」の一環として開催します。

【技術提案を求めるテーマ】

- 配置・平面計画について/
これからの時代のニーズに合った、「癒し」「やすらぎ」を感じる使いやすい配置、平面計画であること
- 意匠・景観計画について/
分かりやすく、周辺環境になじむ意匠、景観計画であること
- コスト削減について/
ライフサイクルコストの低減とともにメンテナンスが容易であること

プロポーザルの流れ

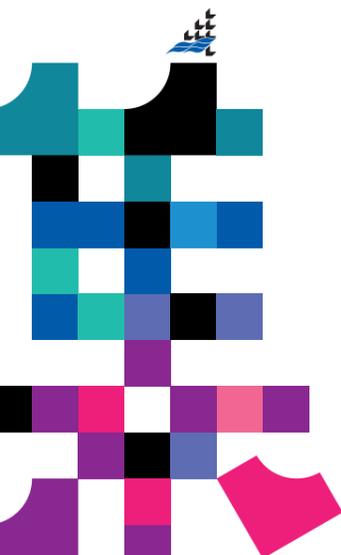




第1回(平成23年度)プロポーザル最優秀賞 [水戸市]

茨城県営桜川アパート 「これからの団地の集会所」

Shade建築設計工房 鈴木 弘



設計者からのコメント

震災の影響で足かけ3年かかりましたが、無事竣工することが出来ました。

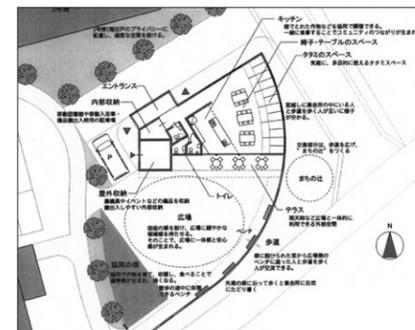
若干の変更点はありますが、県営アパートや周辺住宅地の住民に開かれつつ、周辺の景観に

も調和した、安定感のある建築になったと自負しています。

今後、地域住民の皆さんにさらに利用され、愛される建築となることを願っています。

[建物概要]

- 所在地/茨城県水戸市
- 用途/集会所
- 発注者/茨城県
- 構造/RC造一部S造
- 延床面積/100㎡程度



地域と建築との結び付きを理解し 「場と対話する」これからの集会所を求めて

我が国においては、少子高齢化に伴う急速な人口の減少、深刻化する地球環境問題、個人の価値観やライフスタイルの多様化など、これまでの地域を取り巻く社会情勢が大きく変化し、新たな視点による政策の展開が必要となっている状況です。

このような中、本県の公営団地内においても高齢者の居場所の減少、居住者間のコミュニティの欠如など、地域拠点としての集会所の機能低下が問題となっており、活力ある地域づくりの一つの方策として集会所の見直しや、東日本大震災のような災害時に避難所としての役割が求められています。これからの時代と社会を形づくりにふさわしい「場と対話する集会所」の提案とデザインを期待します。



回廊に沿って歩くと集会所に自然にたどり着く



第2回(平成25年度)プロポーザル最優秀賞
[北茨城市]

高萩警察署大津地区交番 「これからのKOBAN」

大山都市建築設計 大山 早嗣



設計者からのコメント

【設計主旨(要約・抜粋)】

2年前の震災により甚大な被害を受けた北茨城市大津地区。市の復興の一翼を担うKOBANとするため、そして今まで以上に市民の安心・安全に応えることができるKOBANの姿を見出すため、市の基本的目標に則するとともに、次の4つの視点から高萩警察署大津地区交番の計画を提案します。

守られた場を創り出す「庇」

「庇」を敷地東側歩道沿いの間口全面に配し、市民の安心と安全を守るイメージを演出します。文字通り「庇(かば)う」ことを意図し、「庇」に

よって守られた「場」を創り出します。**サービスステーションとしてのKOBAN**
通話目的で駐車するための駐車スペース、気軽に利用できるトイレ、そして地域の悩み事を気軽に相談できる窓口を備えたKOBAN。視覚的にも開放性を持たせたエントランスとコミュニティスペースを設けることにより、安心して気軽に立ち寄ることができます。

公的空間と私的空間をつなぐ

住居を併設した施設となることから、土地利用計画と建物平面計画において公的空間と私的空間

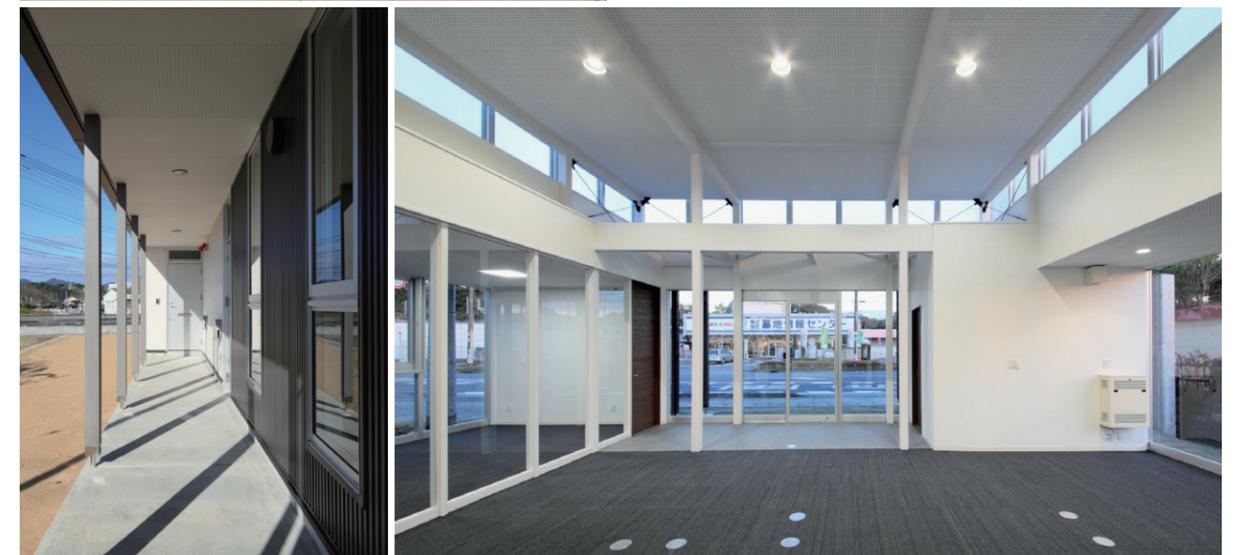
を明確に区分しながらも中間的な領域を設けることにより、機能的にも一体的な空間を構成します。

木の素材感を読み替える

KOBANの建物(躯体、内部仕上)には東北地域の木材を積極的に活用し、外装には耐塩害素材を使用し維持管理にコストがかからないよう配慮します。その中でも木の素材感を生かす工夫として、杉型枠を活用したコンクリートや北茨城市復興の象徴でもある六角堂のベンガラ、その他耐久性のある焼杉を用いた仕上げ方法も取り入れます。

【建物概要】

- 所在地/茨城県北茨城市
- 用途/交番
- 発注者/茨城県警察本部
- 構造/木造2階
- 建築面積/299.01㎡
- 延床面積/258.86㎡



地域のコミュニティスペース



市の復興の一翼を担う 絵空事ではない 「新しいKOBAN」



国道6号線に沿ってパーゴラや看板的な独立壁を設けることにより、今回の敷地全体を公共施設としてさりげない形で目立たせることに成功している点が審査委員一同に高く評価されました。

またそのパーゴラに併せて、本体部分、住宅部分、警察署用駐車場、訪問者用駐車場を巧みに配置している点も好評でした。

笠松運動公園 公衆トイレ

株式会社 匠建築研究室 坪山 励

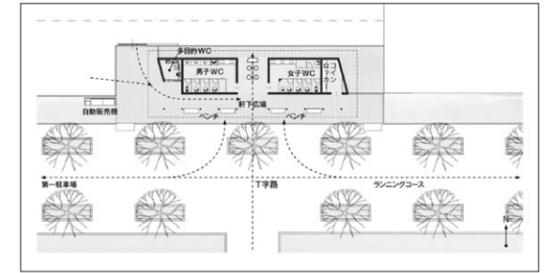


周辺の並木を眺めながらくつろげる、軒下広場のあるトイレ

のびのびとしたプランであり、敷地の形状をうまく使いながら、高さを抑えた建物でまとめた点も評価されました。トイレ周辺の敷地の使い方についても積極的な提案がありました。全体的にシンプルで清潔でメンテナンスしやすそうということで、最優秀賞に輝きました。

【建物概要】

- 所在地/茨城県ひたちなか市
- 用途/トイレ棟
- 発注者/茨城県
- 構造/RC造一部S造(小屋組S造)
- 建築面積/106.31㎡
- 延床面積/56.40㎡



設計者からのコメント

【設計主旨(要約・抜粋)】

並木のリズムと調和するように細長い建築を考えました。前面空地を設け、軒下広場とすることで、並木を眺めながら憩える場所を計画。一休みや、雨宿り、待ち合わせスペースとして使える安心・安全なトイレを提案します。

配置・平面について

- ①補助陸上競技場からの流れを意識した細長い配置の建物とします。
- ②T字路の交点にあり、人の往来も多いことから、待合せ場所としても機能するように、並木に合わせてベンチを配置。軒を伸ばし、居心地の良い空間を演出しました。

意匠・景観計画について

- ①並木のリズムに合わせて柱を立て、その下を軒下広場とすることで、並木道を眺められる明るい広場を設けました。

て、その下を軒下広場とすることで、並木道を眺められる明るい広場を設けました。

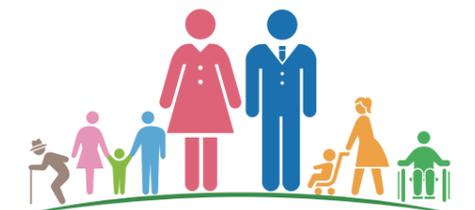
- ②建物のセットバック、視線の抜けによって、圧迫感を軽減させます。
- ③外壁は白色系のフッ素樹脂塗装とし、視認性と耐久性を確保します。

さらなる提案

- ①運動中でも気軽に利用できるように、トイレ前室(半屋外)に、水呑み・足洗いのスペースを設けます。
- ②運動中にかさばる貴重品を収納するためにコインロッカーを設置します。
- ③小さな子どもと一緒に入れる、親子トイレを設置します。

ライフサイクルコスト・メンテナンスコストの低減

- 節水型便器を採用することで、使用水量を低減します。
- ハイサイドライトからの自然光を取り入れることで、極力照明に頼らない計画とします。
- 照明は、高効率なLED照明を用いることで、消費電力を抑えます。
- 一般的に用いられるガルバリウム鋼板よりも耐用年数の高いアルミ製屋根仕上げとし、メンテナンスにかかる費用を抑えます。



家族で同時に個室を利用できる「親子トイレ」を提案



森のオアシス(トイレ+休む・寛ぐ場)は、水平と白を基調とし高さを極力抑えることで、認識しやすいが公園の緑を押さえつけない物とし、主役である公園の景観に配慮した



玄関としてのトイレ(人々を招く・見送る)は、多方向からのアプローチを可能としつつ主張し過ぎないよう高さや色を抑えたものとし主役である公園の景観に配慮した

第3回(平成26年度)プロポーザル優秀賞
【ひたちなか市】

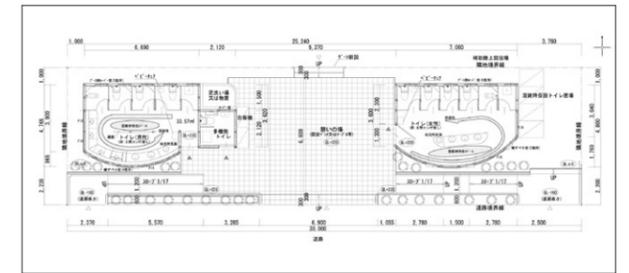
笠松運動公園 公衆トイレ

有限会社 常総企画潮田建築設計事務所 宮本 誠司



【建物概要】

- 所在地/茨城県ひたちなか市
- 用途/トイレ棟
- 発注者/茨城県
- 構造/木造
- 建築面積/46.68㎡・45.47㎡
- 延床面積/46.41㎡・45.47㎡



人々を迎え、見送る「玄関としてのトイレ」と「森のオアシスとしてのトイレ」

分棟の間にガラス屋根をかけたリ、多目的トイレを挟み込むことにより、トイレを分節化して、全体にスケールを小さくして、森の中に溶け込ませることに成功している点が高く評価されました。軽くて清潔な感じも好評を得ました。また混雑時の仮設トイレの設置もあわせて考慮されている点も評価されました。

設計者からのコメント

【設計主旨(要約・抜粋)】

配置・平面計画について

園内のメイン通路同士の交差点に位置することから、常時は元よりイベント時にも利用者が最も多くなると考えられます。また現地視察の際、敷地に少し余裕がありそうなこと、突然の雨を凌ぐ場所や腰を下ろして休む所が少なかったこと等により、こちらのトイレは排せつの用だけではなく「休む・寛ぐ場」としての要素も必要なのではと考え、中央に「憩いの場」を設けその両側に男女別のトイレ及び多機能トイレを配置する計画としました。この「憩いの場」は大会時の補助陸上競技場からのアプローチも考慮し、また「障害者スポーツ大会」時など車椅子使用者等の滞留の場としても役立つのではと考えています。尚、中央の大屋根は必要に応じて後施工が出来る様、別棟として計画します。

トイレ自体の計画としては4K(暗い、汚い、くさい、怖い)を出来る限り排除したいと考え、回遊性

のあるゆったりとした感覚の明るいイメージで計画しました。この回遊性は混雑時に利用者の流れをスムーズにし、特に女性用トイレでは入口から各ブースまでの長めの間合いが待合スペースとして機能することを期待します。

意匠・景観計画について

緑に囲まれた環境のため、水平性と白を基調とした色彩で計画しました。また男女別棟で配置し、高さを極力抑え(水上棟高GL+3200程度)、認識はしやすいが必要以上に周辺の緑を押さえつける存在感は出さないよう意識しました。

コスト削減・メンテナンスについて

床及び外壁(GL+1700程度まで)はコンクリート打放し仕上げ(内部はエポキシ系クリア塗装)とし水洗いが出来るようにしました。上部外壁と屋根については長寿命なガルバリウム鋼板仕上げとしています。雨樋についてはトイレ入口が屋根水上側であること、枯葉による影響を考慮し、設置しない方向性で考えています。

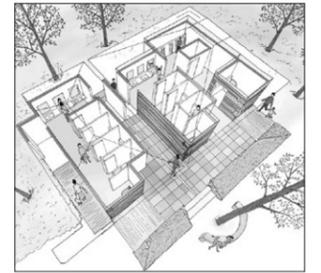


笠松運動公園 公衆トイレ

株式会社 飯島洋省andHAND建築設計事務所 飯島 洋省



- 【建物概要】
- 所在地 / 茨城県ひたちなか市
 - 用途 / トイレ棟
 - 発注者 / 茨城県
 - 構造 / CB造一部S造
 - 延床面積 / 約50m²程度



ユニークな浮きあがった屋根が、公園環境の中のポイントマークに

三角屋根を高く見せて、森の中にこの三角屋根が連なるようなデザインになっており、多少目立つような造形になっています。また混雑時の対応、排水の処理、メンテナンスのしやすさ等々についても工夫があり、細かいところまで注意が行き届いています。

設計者からのコメント

【設計主旨(要約・抜粋)】

運動公園の、広大な敷地内には豊かな自然と各種の体育施設が点在し、県民の憩いの場として、また、スポーツ・レクリエーションの拠点ともなっています。多くの樹木が立ち並ぶ周辺環境と共存しつつ、公園の公衆トイレとしてわかりやすい、見つけやすいポイントマークとしてのみんなのトイレを提案します。

大切な3つのテーマ

①わかりやすいこと

周囲の環境と共存しながら公園のポイントマークとしてのトイレ

②使いやすいこと

日常とイベントの両面に対応した安全でフレキシブルなトイレ

③長く使えること

管理・維持しやすく丈夫で更新性の高い、明るく快適なトイレ

そのほか留意した点

- 県産材の利用と構造計画
- 勾配屋根と出の大きな低い軒
- 自然の中での快適性を内部まで取り込む
- トイレ部分の床レベルを周辺よりも高く確保する





第3回(平成26年度)プロポーザル審査員特別賞
[ひたちなか市]

笠松運動公園 公衆トイレ

大山都市建築設計 大山 早嗣



設計者からのコメント

【設計主旨(要約・抜粋)】

「那珂八景」銀杏並木の中に位置するトイレ。木立に囲まれた環境に溶け込みながら、屋根と外壁の透明なガラスの開口から季節折々の木もれ日を取り込みその形態と素材感により存在感を浮かび上がらせます。

誰もが心地よい、安心・安全なトイレを提案します

- 自然光による採光(ガラス、FRP素材)と自然通風による換気を確認し、快適な環境をつくります。
- ユニバーサルデザインの視点に立ち、周辺施設利用者に対

応した計画とします。

- 隠すべきところは隠し、できる限り開放的にして死角をなくし、見通しがよくわかりやすい計画とします。

立地環境に配慮した意匠計画を提案します

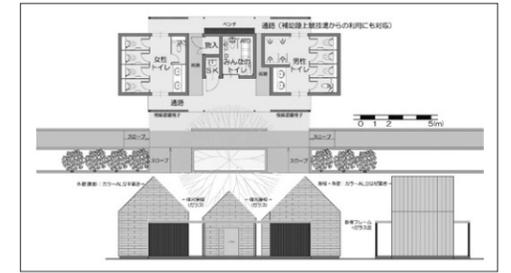
- 計画地の環境を読み込み、個別にデザインキーワードを設定します。
- 高耐久素材の使用と併せ、木材利用にも配慮した構造形態とします。
- 木立からの落ち葉に配慮し、樋集水にたよらない屋根形状とします。

シェルター機能を兼ね備えたトイレを提案します

- 急な天候の変化による降雨や雷から、一時的に避難できる庇下空間を確保します。
- 運動中の体調急変に備え、AED(自動体外式除細動器)や緊急連絡装置の設置に対応します。
- 災害時対応を考慮し、地中ビットを利用した水槽や補助電源に対応した設備計画を行います。

【建物概要】

- 所在地/茨城県ひたちなか市
- 用途/トイレ棟
- 発注者/茨城県
- 構造/木造
- 建築面積/86.00㎡
- 延床面積/68.56㎡



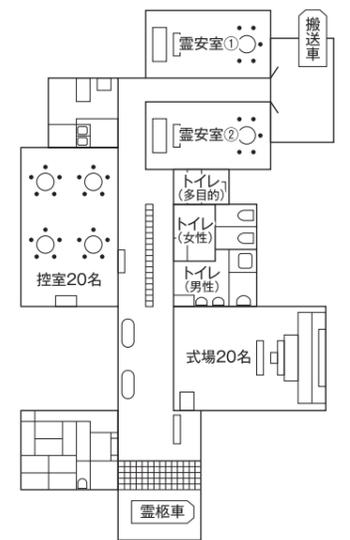
季節折々の木もれ日を取り込み 明るく風通しのよい 内部空間を実現

三角屋根の3分棟案です。大きなガラス屋根やFRP素材の利用については、現実的かどうか議論が分かれました。また外壁をアルミで仕上げる点も興味深いが、他方コスト的に可能かどうかということも議論になりました。実施の段階では幾つか乗り越えなければならない障壁がありそうだが、今回のプロポーザルに対する意欲を感じさせる案ということで、審査委員特別賞に決まりました。





- 【建物概要】
- 所在地／茨城県行方市
 - 用途／家族葬ホール
 - 発注者／JAなめがた
 - 構造／木造平屋建て
 - 建築面積／324.82㎡
 - 延床面積／274.05㎡
 - 敷地面積／約3,000㎡・ホール収容人数(約30名)



「癒し」「やすらぎ」を感じる これからの時代のニーズに合った家族葬ホール

JAなめがた様から題材を頂きました。プロボのテーマは「癒し」、「やすらぎ」を感じる、これからの時代のニーズに合った家族葬ホールです。顧客の明確な要望がありながらも葬祭場という微妙なテーマに、はたして申込者が何名来るか不安でした。

現地説明会を開いたところ、思いがけなく大勢の若い方々に来て頂きました。参加者に話を伺うと「設計条件が分かりやすく、建物の規模、構造、建設費などが手頃

で取り組みやすい案件です」と言っていただきました。応募は21社ありましたが実際の作品提出は16社になりました。

審査の結果は最優秀賞に㈱早川建築事務所、建物は、既存の中央ホール隣接地に「なめがたファミリーホール」として単独で設置されました。

完成見学会では、既存竹林をバックに、茶色とクリーム色の外装に木の格子と梁を組み合わせた建物が、落ち着いた雰囲気を演

出しておりました。

視察後、石井社長より、入札から完成に至る貴重なお話を伺いました。設計・監理担当の㈱早川建築事務所様並びに建築士事務所協会に対し「この度は大変お世話になり感謝しております」とのお言葉をいただきました。

また、今後は小規模な葬儀のニーズが増えてくると思っており、この施設が地域のランドマーク的存在になればと期待している、との事でした。

第4回(平成30年度)プロポーザル最優秀賞【行方市】

JAなめがた家族葬ホール

株式会社 早川建築事務所 早川 敏史



設計者からのコメント

「招き入れる癒しのセレモニーホール」というコンセプトの元に、設計・監理を行ってまいりました。

計画の中で、施主様の要望を反映しながら設計をまとめ、工事では、施主様と建設会社のご協力のうえ、無事に完成となりました。

要望及びコンセプトを活かしながら、

行方という風土に相応しい建物を目指し実現できたと思います。

また、植栽計画につきまして、施主様にて検討していただき、雰囲気のある外構空間となりました。

最後に、施主様、プロポーザル関係者様に感謝申し上げます。



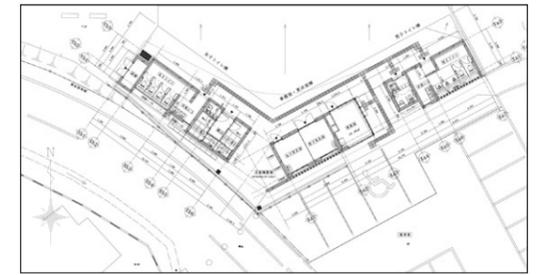
既存竹林をバックに、茶色とクリーム色の外装に木の格子と梁を組み合わせた建物が落ち着いた雰囲気を演出



心やすらかに故人を送るにふさわしいゆったりとした空間



- [建物概要]
- 所在地/茨城県日立市
 - 用途/テニスコート管理棟(公園事務所)
 - 発注者/日立市
 - 構造/鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造
 - 建築面積/169.16㎡
 - 延床面積/108.73㎡
 - 敷地面積/約9,141㎡(テニスコート含む)



設計者からのコメント

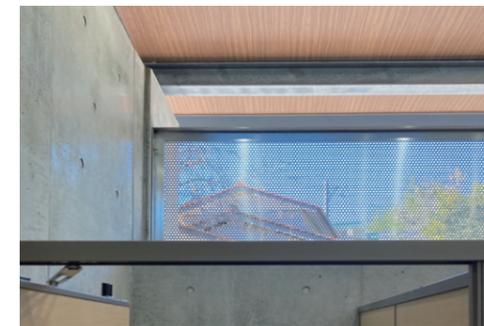
この施設は、事務所協会主催のデザインコンペでの当選案を元に設計したものです。コンペ案とはだいぶ違っておりますが、コンペ時提案した趣旨にそった設計ができたのではないかと思います。

何分小さい建物です。完成した建物の出来栄より今後この施設を利用者がどのように使ってもらえるか、私の意図した使い方をしてもらえかが心配です。単なる、テニスコートの管理施設以外に何か違った使い方をしてもらえれば設計者としてはうれしいのですが、十年ぐらいつればあちこち建物も傷んできてある意味あの場所になじんでくれると思っています。その時また、訪ねてみたいと思っています。



室内:女子トイレ

室内:男子トイレ



庇の迫り出しと日陰

第5回(令和元年度)プロポーザル最優秀賞 [日立市]

日立市市民運動公園 テニスコートトイレ・更衣室棟

有限会社 AkH建築設計室 本澤 幸一



限られた予算の中、子どもから大人まで利用できる施設

対象建物は、日立市市民運動公園に陸上競技場や野球場と共に設置された、テニスコートの管理棟(事務室・更衣室・トイレ等)です。

改築工事と言うことで、

- 「安全」「快適」を考慮した使い易い提案であること
 - わかりやすく、周辺環境に配慮した提案であること
 - ライフサイクルコストの低減に配慮し、メンテナンスが容易であること
- と言うテーマの基、計画しました。



プロポーザル施設 Since 2011～

第5回(令和元年度)プロポーザル
日立市市民運動公園テニスコートトイレ・更衣室棟



第1回(平成23年度)プロポーザル
茨城県菅桜川アパート
「これからの団地の集会所」



第4回(平成30年度)プロポーザル
JAなめがた家族葬ホール



第2回(平成25年度)プロポーザル
高萩警察署大津地区交番「これからのKOBAN」



第3回(平成26年度)プロポーザル
笠松運動公園公衆トイレ



制作：企画委員会
 根本 洋一朗 小沼 隆志 坪和 昭男 橋本 照雄 塙 万治
 林 博之 田畑 邦雄 池田 昭一 加藤 雅史 塚本 美明
 中山 正巳 西村 保 貝塚 勇 柳下 文江 原 正樹
 製作：(株)メディアクロス水戸 令和4年10月